

医療的ケア児等支援者養成研修及び医療的ケア児等コーディネーター養成研修 実施の手引き（令和6年3月）

1 目的

日常生活および社会生活を営むために恒常的に人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為を受けることが不可欠な児童や重症心身障害児（以下「医療的ケア児等」という。）が地域で安心して暮らしていけるよう、医療的ケア児等に対する支援が適切に行える人材を養成することを目的とする。

（1）医療的ケア児等支援者養成研修

地域の障害児通所支援事業所、保育所、放課後児童クラブ及び学校等において医療的ケア児等に必要な支援を理解し、支援に関わる者を養成することを目的とする。

（2）医療的ケア児等コーディネーター養成研修

医療的ケア児等に関する相談対応、医療的ケア児等のライフステージに沿った支援の調整や関係機関との情報共有、支援に必要な地域資源等の把握・開発など、地域において、医療的ケア児等の支援を総合調整する者を養成することを目的とする。

なお、総合調整する者以外に個別支援に係る調整等を行う者として、医療的ケア児等コーディネーターを地域に養成することを妨げるものではない。

2 協議の場等の活用

都道府県・市町村は、地域における医療的ケア児等に対する支援体制の構築に向け、設置する協議の場等を活用し、医療的ケア児等コーディネーターの役割等を明確にした上で、医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者等の活動状況等を踏まえ、必要な研修の計画立案、実施及び評価等について検討し、実施後には次回研修に向けて研修対象や内容等を検討し、必要に応じて改善すること。

3 研修対象者

（1）医療的ケア児等支援者養成研修

地域の事業所等で医療的ケア児等を支援している者や今後支援したいと考えている者とする。

例えば、障害児通所支援事業所、障害児相談支援事業所、保育所、認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブ、学校等において医療的ケア児等への支援に従事する者、今後支援に関わる予定のある者、ボランティア、学生等の幅広い対象とする。

(2) 医療的ケア児等コーディネーター養成研修

市町村、相談支援事業所又は関係機関に所属し、各地域における医療的ケア児等の支援に係る総合調整を行う者とする。

なお、医療的ケア児等への支援体制、医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者数や活動状況等の地域の実情に応じて研修対象者の受講要件を検討すること。

4 研修内容等

研修カリキュラムは、別紙 1、2 の通りであり、この内容以上のものとする。特に、可能な限り、実地研修や施設見学を含めることが望ましい。また、地域における医療的ケア児等の支援体制の構築に向けて、時間数を延長することや必要な科目を追加すること。医療的ケア児等支援者養成研修については、幅広い対象が受講することにより医療的ケア児等への支援に関する普及啓発を図る観点からオンライン開催が必要と検討された場合は差し支え無いものとする。

なお、平成 27 年度及び令和元年度の厚生労働科学研究で開発された研修テキストが、こども家庭庁のホームページで公開されているので活用いただきたい。(※)

(※) ホームページアドレス

https://www.cfa.go.jp/policies/shougaijishien/care-ji-shien/#h2_free4

研修講師は、医療的ケア児等の障害特性や支援技術に関する知識を有し、職歴、資格、実務経験等に照らし、適切な人材と人数を確保すること。

5 修了証の交付等

都道府県等は、研修を修了した者については、別紙 3 の様式を参考に修了証書を交付し、修了証書番号、修了年月日、氏名、連絡先等の必要事項を記載した名簿を作成し、個人情報に十分な注意を払った上で管理するものとする。

6 フォローアップ研修等

都道府県等は、医療的ケア児等コーディネーター養成研修を修了後、医療的ケア児等への支援に携わる者等を対象に、2 年ごとに医療的ケア児等への支援を通じて得た経験の共有、生じた問題等への解決を図ること等を目的としたフォローアップ研修等を実施すること。なお、実施頻度については、これ以上の実施を妨げるものではない。また、同等の効果が期待できる場合には、地域の実情等に応じた方法や内容等により連絡会等の開催であっても差し支えない。

医療的ケア児等支援者養成研修カリキュラム

科目名	時間数	内容
1 総論	1 時間	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域におけるこどもの発達と支援 ② 医療的ケア児等支援の特徴 ③ 支援に必要な概念 ④ 医療的ケア児とその家族に対する支援に関する法律
2 医療、保健	3 時間	<ul style="list-style-type: none"> ① 障害のあるこどもの成長と発達の特徴 ② 疾患の特徴 ③ 生理 ④ 日常生活における支援（感染対策、摂食嚥下、口腔ケア） ⑤ 救急時の対応、災害対策支援 ⑥ 母子保健 ⑦ 訪問看護の役割と仕組み
3 福祉、保育、教育、労働	3 時間	<ul style="list-style-type: none"> ① 本人・家族の思いの理解 ② 支援の基本的枠組み ③ 福祉 ④ 遊び・保育 ⑤ 教育 ⑥ 労働 ⑦ 家族支援（きょうだい児支援・就労支援） ⑧ 虐待防止対策
4 連携	2 時間	<ul style="list-style-type: none"> ① 小児在宅医療における多職種連携 ② 連携・協働の必要性
5 ライフステージにおける支援	3 時間	<ul style="list-style-type: none"> ① 各ライフステージにおける相談支援に必要な視点 ② NICU からの在宅移行支援 ③ 児童期における支援 ④ 学齢期における支援 ⑤ 移行期における支援 ⑥ 成人期における支援 ⑦ 医療的ケアの必要性が高い子どもへの支援

医療的ケア児等コーディネーター養成研修カリキュラム

科目名	時間数	内容
1 総論	1 時間	① 地域におけるこどもの発達と支援 ② 医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律 ③ 医療的ケア児等コーディネーターに求められる役割
2 医療、保健	3 時間	① 障害のあるこどもの成長と発達の特徴 ② 疾患の特徴 ③ 生理 ④ 日常生活における支援（感染対策、摂食嚥下、口腔ケア） ⑤ 救急時の対応、災害対策支援 ⑥ 母子保健 ⑦ 訪問看護の仕組みと実際の活動
3 本人・家族の思いの理解	2 時間	① 本人・家族の思い ② 意思決定支援 ③ ニーズアセスメント ④ ニーズ把握事例
4 福祉、保育、教育、労働	3 時間	① 支援の基本的枠組み ② 福祉 ③ 遊び・保育 ④ 教育 ⑤ 労働 ⑥ 家族支援（きょうだい児支援、就労支援） ⑦ 虐待防止対策
5 ライフステージにおける支援	2 時間	① 各ライフステージにおける相談支援に必要な視点 ② NICUからの在宅移行支援 ③ 児童期における支援 ④ 学齢期における支援 ⑤ 移行期における支援 ⑥ 成人期における支援 ⑦ 医療的ケアの必要性が高いこどもへの支援
6 地域支援体制整備	3 時間	① 支援チーム作りと支援体制整備/支援チームを育てる ② 支援体制整備事例 ③ 医療、保健、福祉、教育、労働の連携 ④ 地域の資源開拓・創出方法（資源把握、市町村・都道府県との連携）
7 演習（計画作成）	7 時間	演習に向けた計画作成のポイント 事例をもとにした計画作成の演習
8 演習（事例検討）	7 時間	事例をもとに、意見交換（グループディスカッション）・スーパーパイザーによる計画作成の指導

別紙3

第 号

修 了 証 書

氏名

生年月日

あなたは、医療的ケア児等〇〇〇養成研修を修了したことを証します。

令和 年 月 日

〇〇〇知事

〇〇 〇〇